



【村山大和・書記・植木博】
 【通信員】武蔵村山ではお惣菜とうどんで有名な「青柳」
 およぎ「さん、今回はどう



隣にある系列惣菜店の品も注文できる

青柳

武蔵村山は、腰の強さが自慢の「武蔵野うどん」の地域で、「村山かとうどん」という名前が出されています。お店では、昼食時に来店される7割のお客さんがこの村山かとうどんの「肉汁うどん」(大750円、中650円、小550円)を注文するほど人気とのこと。

どけんファミリーカード提示で地域のポイント「Mカード」のポイント2倍がサービスされます。

【営業時間】11時半～14時、夜の宴会は要予約、定休日・月・祝【住所】武蔵村山市本町4-6-5【電話】042-561-0143



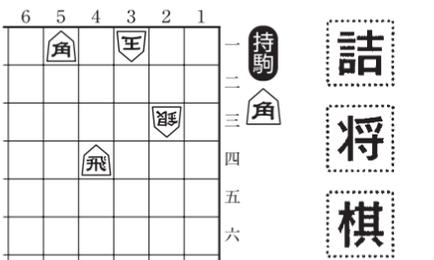
どけんファミリーカード提示で10%割引の大サービス。

【営業時間】11時半～14時(月～金)、17時～24時(月～土)
 ・祝・祝前※日は23時半まで、定休日なし※12月31日、1月3日は休み【住所】豊島区西池袋3-22-10ルミエール2F【電話】050-5890-5863



総料理長自慢の絶品もつ鍋

【豊島・書記・寺島耕平通信員】「雅屋(まさや)」は池袋駅西口から徒歩3分で気軽に行ける居酒屋。昼間はランチもやっていて、立教大生で大賑わい。豊島支部若手役員の紹介で見つけた、旨くて近くて・安い!と三拍子そろった素晴らしいお店。気さくな店長さんと元気がいっぱいの店員さんが歓迎してくれま



詰将棋
 持駒 角 王 飛

私が東京土建の教宣部にはまったのは、主婦の会に入り、当時、主婦の会の教宣担当だった須田幸子さんに誘われたのがきっかけでした。

支部のサマースクールで、御岳山での一泊合宿に参加。そこで当時、本部の教宣担当



建築事務 神田和歌子

一泊合宿で猛特訓 教宣の仲間刺激受け

の小野寺さんに出会うことができました。それこそマスに書く漢字・平仮名の書き方から記事の書き方など、事こまやかに教えていただき、何でも答えてくださいました。

私自身も記事にしても「よしほめてもらうぞ」と、新聞を書く気分がノッてきた事を思い出します。

初めての合宿で驚いたのは、自分の温かさです。そして私の足跡が残せたことです。それが、今の私の誇りでもあります。(西多摩)

その当時は小野寺さんの批評が待っていたものですが、皆さん本気。でもそのことがあったからこそ、新聞作りが楽しくなりました。

記事が書けなく苦しんだこともありました。新聞作りは楽しいものです。「のみち」の「螢の郷」「多摩の桜」と新聞作りを渡り歩いてきた私ですが、その中で私の新聞を最初から取っておいでくださった方がいたことに、胸がいっぱいになったのを覚えています。そしてそういう方は、教宣に対して協力的です。私が旅行に行けない時など、写真を撮ってきてくれたりしてくれました。

チヨット一服(949)
 日野原重明さんがなくなった。日野原さんのお話を直接聞いたのは2010年11月に大田産業プラザで開かれた「東京・9条まつり」が最初だった。日野原さんは九条の会東京連絡会の賛同人として名を連ね、会誌「生きいき憲法」の名付け親であり、会誌

で、旅館を経営する実家に戻ったが、旅館を継いでいた長姉が急逝し、昭和10年、29歳のときに家のために義兄と結婚した。

その後、50歳のときに旅館が全焼した。東京にいた

真砂女は、その翌日、もう一人の姉に会ったところ、「家をそのまま裸で出るか、それとも高血圧で寝たきりの主人を看護するのか」と切り出され、迷うことなく「家を去る」と答えた。

本のほん
 今現在、いろいろと迷っている方には目の鱗が落ちる名著と思います。(集英社新書・821円税込)

橋本治さんをご存知ですか。若い方は厳しいかなと思われ。現在69歳の小説家、評論家、随筆家です。この方の作品は漫画であれ「こち亀」と「アトム」を足したような、といえは分かりやすいでしょうか。古今東西の知識と独自の作風によって小説、評論、エッセイを発表しています。

今回はとても真面目な内容ですが、読みやすいインタビュー形式の本です。内容は高度ですが、決して難しくありません。

未来について考えていますか。歴史は繰り返すとよく言いますが、未来を考えるには歴史を知らないとは駄目なものです。そのようなことは普段考えていないかもしれせん。最初は面食らうかもしれませんが、読んでよくわかります。

今現在、いろいろと迷っている方には目の鱗が落ちる名著と思います。(集英社新書・821円税込)

たとえ世界が終わっても その先の日本を生きる君たちへ

橋本 治 Hashimoto Osamu

崩壊に近づくEU、トランプ、云々総理... 「世界がバカになっている時代にならなければならないために」

橋本治 初の説法集

たとえ世界が終わっても 橋本 治

その先を生きるための説法集

イギリスEU離脱から始まります。歴史的考察と現在の経済的問題の原因を資本主義経済の成り立ちから語り、日本の昭和からバブル時代についての問題は実は帝国主義、資本主義といった考え方が各世界の多様性を何百年も前から押さえつけてきた歪(ひず)みが噴出した結果だと気づかさせてくれます。今は資本主義の矛盾を、